



鈴鹿川通信

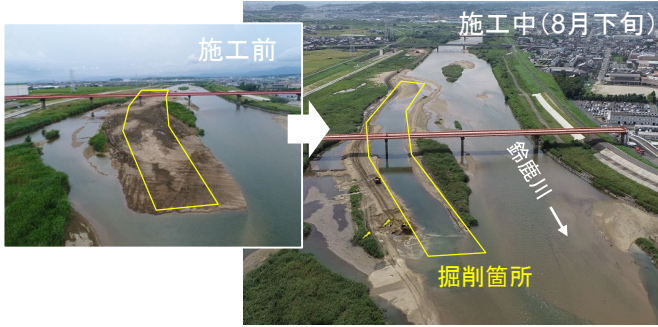
国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所
鈴鹿川出張所
第36号
令和3年9月発行

管内で稼働中の工事をご紹介します



現在、鈴鹿川出張所管内で4本の工事が稼働中です。安全第一で作業を進めていますので、引き続き地域のみなさまのご協力をよろしくお願い致します。

令和3年度 鈴鹿川下流部掘削工事（信藤建設(株)）



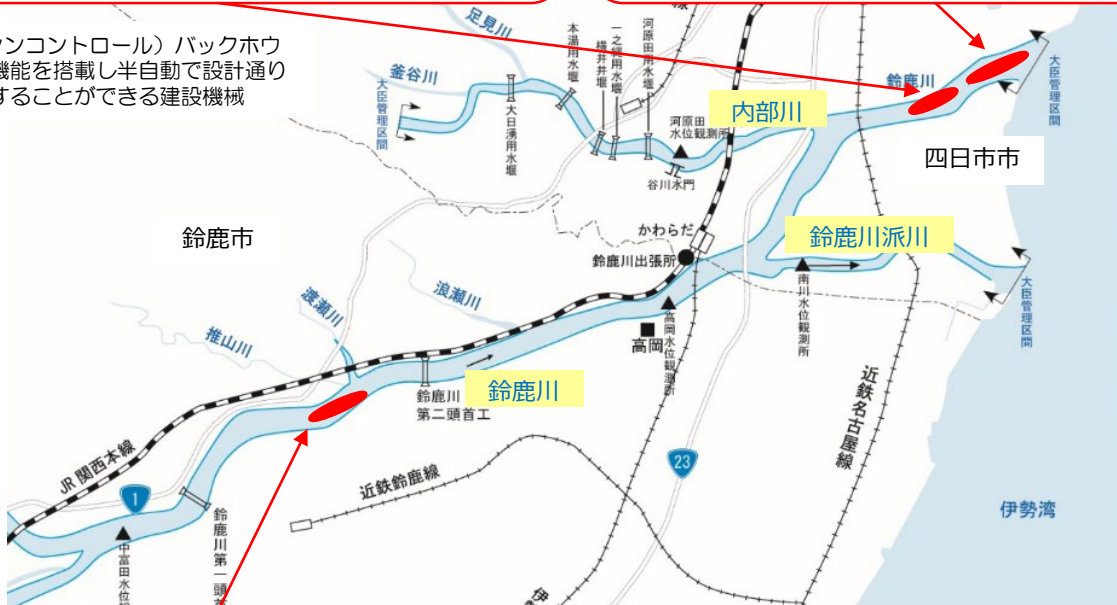
川の流れを良くするために川に堆積した土砂をICT施工（※MCバックホウ）にて掘削しています。

令和2年度 鈴鹿川河道掘削工事（信藤建設(株)）



川の流れを良くするために、河口付近で水陸両用ブルドーザーを使って土砂を掘削しています。

※MC（マシンコントロール）バックホウ
自動制御機能を搭載し半自動で設計通りに掘削することができる建設機械



令和2年度 鈴鹿川堤防整備工事（(株)杉本組）



洪水を安全に流すため、川の中にある竹や木の根を取り除いています。9月中旬で完了予定です。

令和3年度 鈴鹿川堤防維持管理修繕工事

（朝日土木(株)）



堤防の除草など、河川を安全に維持するための作業を管内全域で行っています。

生物による水質調査を実施しました



三重河川国道事務所では、小学生・中学生・高校生及び一般の方々に参加していただき、「水生生物による水質の簡易調査」を昭和59年度から継続して実施しています。水生生物の中でも指標生物といわれる生物は川の水質ごとに生息している種類が異なるため、指標生物を見つけることでその地点の水質を「きれいな水」「ややきれいな水」「きたない水」「とてもきたない水」の4つの階級で判断することができます。

7月28日、四日市農芸高校の生徒21名に参加していただき、内部川の河原田橋付近でこの調査を実施しました。内部川の水生生物を採取し、分類作業を行ったところ、今回はコオニヤンマが採取されたため、この地点の水質は「ややきれいな水」であることがわかりました。今年の「きれいな水」から残念ながら1つ水質が下がってしまいました。一緒にきれいな河川を維持していきましょう！

暑い中で大変な調査だったと思いますが、みなさん真剣に取り組んでくれました。ご協力ありがとうございました。

なお、調査実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を行っています。



<河川水難事故防止に向けた啓発活動>

国土交通省では平成21年度より「河川水難事故防止週間」（7月1日～7日）を設け、河川水難事故の防止のため全国的に重点的な啓発活動を行うこととしており、今回の調査の中でも、参加者に対して河川水難事故防止に向けた啓発活動を行いました。ルールを守って楽しく河川を利用しましょう！

※緊急事態宣言発令中は、感染予防の観点から河川利用をご遠慮いただきますようお願い致します。



水生生物採取の様子



水生生物の分類の様子

編集後記



あっという間に9月になり、夏が過ぎようとしています。今年の夏休みは雨とコロナウイルスの影響であまり外出ができず、不完全燃焼だった方も多いのではないのでしょうか。私はせめて家で夏らしいことをしたいなと思い、少し前におしゃれな蚊取線香ホルダーを購入しました。最近夕方ベランダで蚊取線香を焚きながら涼んでいます◎

9月といえば台風のシーズンです。8月の豪雨では、幸い鈴鹿川には発達した雨域がかからず被害はありませんでしたが、ニュースを見ながら、水害はいつどこで起こってもおかしくないことを改めて実感しました。大雨・台風の際には、気象情報と合わせて鈴鹿川の水位情報もぜひご活用ください。三重河川国道事務所HP・ツイッターでも情報提供しています！

新型コロナウイルス感染防止対策を実施中です。

在宅勤務を行っている場合もございますので、ご不便をおかけしますが来所の際には事前に連絡していただきますようお願い致します。

